

# うめきた2期 フューチャー・セッション 開催について

# うめきた2期 フューチャー・セッション開催について

## 1. セッションの概要

主旨・テーマ：

- ・うめきた2期区域のまちづくり方針に掲げられた「みどりとイノベーション」の融合に関して、「今から10年後の技術やサービスのあるべき方向」をテーマとして想定し、未来社会に必要なビジネスアイデアを募る。
- ・うめきたの未来について、「うめきたがどう変わろうとしているのか」「今後どんな可能性があるのか」などの観点から若手中心に議論。

日時： 2016年3月26日（土）10:00～17:00

場所： 大阪イノベーションハブ（梅田・グランフロント大阪タワーC・7F）

参加者： 若手社会人・学生を中心に約50名（別途プレゼン時のオブザーバーは約20名）

ファシリテーター： 竹本 記子氏（CAREER VIVO）

事務局： 関西経済連合会（主催）、大阪市・大阪商工会議所（協力）



グループディスカッション

## 2. 開催結果

- はじめに、参加者に具体的なイメージを持ってもらうための「うめきた2期」に関する概要説明とイノベーションに関するインスピレーショントークを実施。（阪大 八木理事・副学長、京大 小寺教授、理研 渡辺センター長など）
- 次に、グループに分かれ、うめきたで参加者自身が実現したい未来について、ディスカッションやグループワークを実施し、最終的に2025年を想定した「未来新聞」として発表。
- 参加者からは、「未来は変えられる」という意欲的な発想のもと、ビッグデータを活用した健康・若返りプロジェクトの実現や、留学生など外国人も活躍できるグローバルな場づくり、子どもが画期的な商品を開発できる機会や環境の実現、体験や感動を共有できる非日常空間づくりなど、積極的な意見が数多く出された。



未来新聞発表

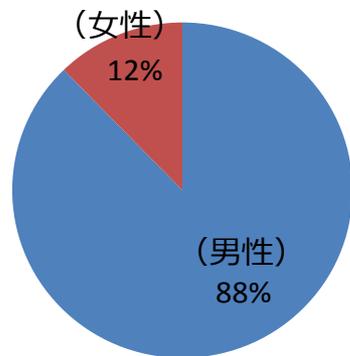
# (参考) うめきた2期 フューチャー・セッション アンケート結果

## 1. アンケート対象

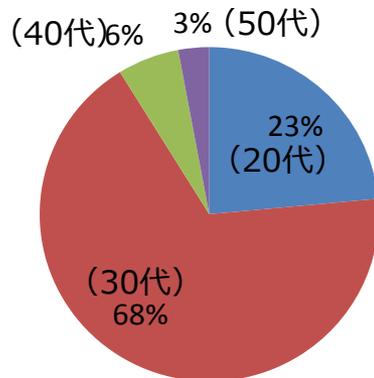
参加者：46名、オブザーバー：20名、  
有効回答数 57

## 2. 開催結果について

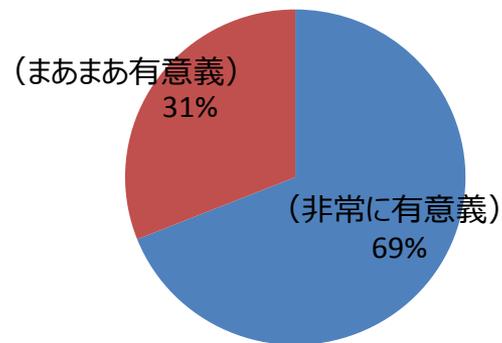
(男女別比率)



(年代別比率)



(参加した感想)



## 3. その他 (主なご意見)

- ・異業種間で新鮮な刺激を受けました。次回このような場があれば是非とも参加したい。
- ・いろいろな会社に属する方がアイデアをぶつけあうことで、非常に面白い新聞・未来イメージを見せて頂いた。
- ・参加者の方の熱い思いがよく伝わっていると感じた。
- ・参加メンバーに、さらに多様な人々（子供・主婦・高齢者・海外の方等）が加われば、よりイノベティブになるのではないのでしょうか。
- ・中学生や高校生バージョンの開催もしてみたい。
- ・双方向で語ることでアイデアがうまれてくる瞬間がとても楽しい時間でした。
- ・街づくりに参画するチャンスをいただき、とても貴重な経験ができました。

参加者全員が「異業種間交流の機会は無意義」と回答。普段の学業・仕事を超えて刺激しあうことで、とても良い雰囲気の中で建設的な議論が進んだ。新たなモノ・思考を生み出すためには、こうした交流の場が重要であり、かつ非常に有効であると感じられた。